

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念ではないので、検討の必要がある。	○  事業所独自の理念をつくりたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務室、職員が見る機会多いサービスステーションに掲示する予定はあるが、実施にいたっていない。	○  理念を念頭において日々取り組みたい。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族宛に、新聞を発行したが、地域への理解の取り組みはしていない。	○  お便りなどを通して、家族や地域へ伝えていたら良いと思う。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている	近くに民家はなく、出会う機会が少ない。	○  散歩などで出会う近隣の方に、積極的にあいさつをする。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の福祉祭りに参加した。	○  地区の常会等への参加をしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組んでいる活動は今のところない。		地域の人々と話し合い役立つことがないか検討していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価に関する研修を受けたが、理解不足であった。	○	今回の自己評価で、出来ていないことが多々あった。出来ていない所は、改善していきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1月に第1回目を行ったばかりで、サービス向上に活かすにいたっていない。	○	定期的に実施し、サービス向上に活かしていきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	小まめに顔を出し、分からぬことを聞くようにしている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人はそれらを活用できるよう支援している	研修等は行っていない。	○	苑内外で、学ぶ機会をもち、活用できるよう支援していきたいと思う。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	個々で、理解をしているつもりであるが、研修等は行っていない。	○	苑内外で、学ぶ機会をもちたいと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、説明を行い、理解・納得していただいている。	○  今後も取り組んでいきたいと思っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所時に苦情相談窓口についての説明をしている。	○  利用者の方との信頼関係を築き、不満、苦情を聞くように努め苦情があれば即対応できるようにする。
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、受診後などに、近況報告等行っている。	○  面会のあまりない方、健康状態に変化のない方への対応もいかなければならぬ。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会に家族代表の人に参加してもらい意見を言ってもらったり、面会時等に聞いている。	○  お便りなどを通して、意見を求めたり、不満、苦情を記入するような用紙を同封する。
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個々に、意見、提案をしている。	○  職員会等にて、意見を言う機会を設けたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	特に行っていない。	○  勤務の調整が出来る職員体制の確保に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	他の職員でカバーするようにしている。	○	今後もそのように対応したい。 補充職員を確保して、引継ぎを行い、利用者に対して影響が出ないよう配慮に努めていきたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修に参加している。	○	研修等への参加を積極的に行い、復命報告書により、全職員で共有できるようにする。 自己研修を行うよう計画する。
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業の知人などを通じて、情報交換を行っている。	○	他事業所へ訪問をしたり、交流をしていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	女性の多い職場であるので、人間関係などの悩みもあり、現場での意見を話しやすい環境にするよう心がけている。	○	限られた職員のみが意見を言うのではなく、誰もが意見を言いやすい環境を整えていきたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くように努めている	各自の能力、経験を考慮した業務への配置をしている。資格取得、研修への参加の促進をしている。	○	努力や実績を評価していき、気持ちよく働き続けることが出来るよう努めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家に訪問したり、見学に来てもらうなどして、話を聞き、要望に答えるようにしている。	○  今後も取り組んでいきたいと思っている。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家に訪問したり、見学に来てもらうなどして、話を聞き、要望に答えるようにしている。	○  今後も取り組んでいきたいと思っている。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、本人、家族の意向を聞き、当グループホームで支援できるかどうか、検討している。	○  今後も取り組んでいきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学に来てもらい、納得の上利用して頂いている。	○  今後も取り組んでいきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかげ、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の作り方や味付けなど、教わりながら、行っている。	○  利用者の意見を聞き尊重しながら、支えあう関係を築いていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携のとれている場合もあるが、出来てない家族もおられる。	○	職員の方から、家族へ連絡を小まめにとるように心がけて、本人を支えていく関係を築いていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している		○	本人の様子を家族へ小まめに報告して、今までの関係が続けていけるように支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などの面会があったり、家族となじみの場所に出かけたりしている。	○	今後も続けていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	地域での顔見知りの方もおられたり、ここで知り合われて、仲良くなられたりして、お互いに訪室したりしておられる。	○	お互いが負担にならないように職員が配慮しながら、良い関係を作っていただきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	次の居宅介護支援事業所へ引き継いだりしている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの意向を把握しきれていない。	○  本人の意向を確認し、出来るだけ希望に添えるよう努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取りの中で分かっていることもあります、それに対しては対応できている。	○  出来ていないことに関しては、今後も把握に努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	日々の関わりの中で、把握に努めている。	○  今後も取り組んでいきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入所時に本人、家族の意向を聞くようにして、計画を作成するようにしている。	○  計画作成担当者を中心に、関係者と一緒に作成するようにする。
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	十分な見直しが出来ていない。	○  定期的または変化があったときは見直しを行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入方法は十分でない。	○	個別記録の記入方法について学び、情報の共有、介護計画の見直しに活かしていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性を活かした支援はしていない。	○	要望に応じて、柔軟な支援をしていけたらよいと思う。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している		○	地域資源と協働しながら、支援していきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを調べていないので分からな	○	本人の意向や必要性に応じて、サービスの利用を考えていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ケアマネジメントを調べていないので分からな	○	当グループの取り組みなどについて、助言をもらいたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に、家族の意向を確認し受診機関を決定している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医にかかるまでの重度な方は今のところいないので、受診はしていない。	○	必要があれば、受診できるように連携体制を整えていく必要があると思われる。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日ではないが、常勤の看護職員を配置している。	○	協力医院とも相談しながら、看護師が不在の際にも対応できるように支援したい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医事課に出向き、相談を行っている。	○	今後も取り組んでいきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階からの、話し合いは行っていない。	○	早めに話し合いの機会を持ち、本人、家族の意向を聞くようにする。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に対しての、検討、準備は行っていない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用開始時に、家族も一緒に泊まれるようにしている。	○	馴染みのものを持ち込んでもらったり、居心地のよく生活できるよう努めたい。

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

##### 1. その人らしい暮らしの支援

###### (1)一人ひとりの尊重

50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は、鍵付きのロッカーに保管している。	○	記録等を出したままにしないように、徹底する。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望に対しては、実現できるように努めている。	○	
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしを提供する為の聞き取り、状態把握が、不十分である。	○	一人ひとりと担当との関係を密にすることで、その日をどのように過ごしたいか、希望にそった支援をしていきたい。

###### (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外部より訪問していただき、理容・美容を行っている。	○	行きつけのお店に行けるような支援もしていきたい。
--	---------------------------	---	--------------------------

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、盛り付けや片付けなど利用者に合わせて一緒に行っている。昼食時には、職員も一緒に食事をしている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望がある際に、コーヒー、煎茶、抹茶等を出している	○	希望時だけでなく、好みに応じて飲み物を出せるようしていきたと思う。
56 ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導の時間等は決めず、トイレのサインを見逃さないように気をつけるようにしている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を一応決めているが、体調や希望によりそれ以外の日にも入浴出来るように対応している。	○	一人ひとり入浴日や時間の希望を聞いて対応したい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日当たりのいい廊下に畳を敷く等して昼寝をしてもらうこともある。 夜間の消灯時間を決めていないので、おののお好きな時間に眠れるようにしている。	○	今後も取り組んでいきたい。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畠仕事や料理の盛り付け、洗濯物干しなど、出来ることをしてもらっている。	○	今後も取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い程度のお金自己管理されてる方もおられる。	○	普段自己管理の難しい方も買物の際には、本人にお金を持ってもらい声かけにて支払いも本人ができるように支援していきたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に自由に出られるようにしてあり、天気の良い日には職員と共に出掛けたりしている。	○	今後も取り組んでいきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば職員と一緒に出掛けたり、家族への連絡を行っている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば、電話をしてもらっている。	○	年賀状など季節のはがきを利用者に書いてもらうようにし、なるべく家族の方に返事を書いてもらえたらしいと思う。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に定めず、いつでも来れるよう対応している。各居室やホールにて、一緒にお茶や食事をしてもらっている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	個々で、理解をしているつもりであるが、研修等は行っていない。	○	今後研修を行っていきたいと思っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入社時、認知症に関する研修を受け鍵をかけることの弊害を学び、日中は正面玄関の鍵をあけている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、なるべく玄関付近の出入りがわかるような職員配置をしている。 夜間は、2時間おきに各部屋の見回りをし、利用者の所在確認に努めている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	夜間のみ片づけるよう取り決めており、日中は職員が注意をして、見守りをしている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が起きた場合には事故報告書を作成し、再発防止に努めている。	○	職員一人ひとりが事故防止に努める。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	開所時に、救急蘇生法の講習を行った。	○	今後も定期的に研修を行っていきたいと思う。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の活動に参加し、当グループホームを地域の人々に知ってもらい地域の人々に協力を得られるように努めている。	○	災害時の避難場所、避難経路等の確認を定期的に行っていきたいと思う。 地区の常会に加入出来るように調整中である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時家族等に玄関の施錠をしないかわりに起こり得るリスク等一人ひとりに起こり得るリスクを説明している。  一人ひとりの状態に応じて電話等で家族に報告し起こり得るリスクを説明している。	○	入所時のみでなく定期的に家族等と対応策を話し合っていきたいと思っている。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段から利用者の状態観察に努め、異変に気付いた際には、看護師・ユニットリーダー等に報告し、対応している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の利用者の服薬回数などは理解しているも、薬の詳しいこととなると一部の職員のみが理解している。	○	全職員が理解できるように努める。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給や散歩をしてもらうよう促している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後は行えていないが、夕食後のみ口腔ケアをおこなっている。	○	毎食後口腔ケアをするように努める。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人に応じて、栄養バランスやカロリーを配慮して食事を作っている。水分摂取量が少ない方には声掛けし、飲んでもらうよう促している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ノロウイルスの対応マニュアルのみ作成している。	○	今後早めに他の感染症マニュアルを作成していきたいと思う
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	中庭で無農薬野菜を栽培しており、魚もとりたての魚を使っているので新鮮で安全である。他の食材に関しては、週2回に分けて買い物を行っている。調理器具は、使用後は洗浄後消毒し、保管している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。

## 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### (1) 居心地のよい環境づくり

80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	特別な工夫はしていない。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節に合った花を飾って季節感を出している。必要以上の飾りつけは、生活観がなくなると考えている。	○	
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日向になっている廊下に畳を敷いたりして思い思いに過ごせるようにしている。 共用空間に独りになれる場所がない。	○	共用空間に、独りになれるスペースを設ける。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用されていたタンスや椅子などを持ち込んでもらい、家と同じように生活できるよう支援している。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝掃除を行う際には、廊下や居室など換気をこまめに行っている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室に手すり、コールボタンが設置してあるのである程度自立した方は、一人でも入浴ができるようになっている。	○	手すりのない部分に手すり代わりになるようなものの設置を検討する。
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者が愛着のあるもの等を居室においてもらっている。	○	トイレ、利用者本人の居室の場所がよりわかりやすいように目印をつける。
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	苑外や中庭を使用し、畑で野菜などを栽培している。一緒に草取りなど行っている。	○	今後も取り組んでいきたいと思っている。



部分は外部評価との共通評価項目です )

## V. サービスの成果に関する項目

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しづつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

中庭や苑周辺に畑を作っており、日々の成長を楽しみ、収穫を待ちわびている。収穫した際には、新鮮なうちに調理し食事を提供している。